

# 明日の淡海

- 自然と人との共生をめざして -

公益財団法人 淡海環境保全財団

VOL.  
27  
2019.6

今号からリニューアル! 県民の皆さまに親しみやすく情報をお届けします。



表紙写真: ヨシ原の中の「ヨシキリ」

## 野洲のおっさんびわ湖一周行脚2019 淡海環境プラザから出発!

「野洲のおっさん」をご存知ですか?

野洲のおっさんは、県鳥カイツブリから生まれた滋賀県で活躍中の人気キャラクターです。毎年7月1日のびわ湖の日に向けて行われる、「7.1 びわ湖の日 伝えて歩く野洲のおっさんびわ湖一周行脚」。9周目の行脚となる今年も、昨年に続いて幅広く琵琶湖の環境保全に取り組んでいる当財団からの出発となり、サポートメンバーにも名を連ねています。

4月19日(金)に、財団の「淡海環境プラザ」で行われた出発式では、たくさんの県民の皆さんと、草津市キャラクターのたび丸や、しぶはなちゃん、おいかめちゃんにもかけつけていただき、地球温暖化防止活動推進員や財団職員がにぎやかに見送りました。

おっさん、今年はおみを拾いながら200km歩いてくれるそうです。みなさんも見かけたら応援してください。また、一緒にゴミを拾ってびわ湖の美化にご協力をお願いします。



びわ湖放送の「知ったかぶりカイツブリにゅーす」で放送されました。

いします!

出発式の様子や行脚の模様、財団の紹介映像など、びわ湖放送の「知ったかぶりカイツブリにゅーす」で放送され、また、YouTubeでいつでも見ることができるのでぜひご覧ください。6月30日にゴールイベントがイオンモール草津で行われます。皆さんも参加ください。

また、野洲のおっさんの最新情報や現在地など、アミンチュプロジェクトのサイトでご確認ください。



## 6月30日のゴールイベントにも、当財団が参加します!



淡海環境プラザで行われた出発式

中央左から) 野洲のおっさん、たび丸、しぶはなちゃん、おいかめちゃん

## Index

- 1 表紙特集 「野洲のおっさん」びわ湖一周行脚2019 出発式
- 2 TOPICS 平成30年度滋賀県低炭素社会づくり賞低炭素化事業部門表彰  
地球温暖化防止 COOL CHOICE啓発ポスター入賞作品
- 3 その人に聞く 株式会社明豊建設 企画営業部長 白石昌之さん
- 4-5 寄稿 持続可能な地域社会の実現に向けて～SDGs未来都市しもかわ～  
北海道下川町 SDGs推進戦略室長 蓑島 豪さん
- 6 日本ヨシ紀行～ヨシの風景を訪ねて～ 大阪府高槻市鶴殿  
滋賀県地球温暖化防止活動推進員リレートーク 山本悦子さん
- 7 イベント情報  
スマート・エコハウス補助金の募集を行っています  
ご寄附をいただきました
- 8 お知らせ 募集



# 平成30年度 滋賀県低炭素 社会づくり賞 低炭素化事業部門 表彰

平成30年10月17日、「びわ湖環境ビジネスメッセ」会場で、平成30年度滋賀県低炭素社会づくり賞低炭素化事業部門の表彰式が行われました。

温室効果ガス排出削減に貢献する製品やサービスを生み出し、低炭素社会づくりについて他の事業者の模範となる優れた取り組みを行った県内の事業者3社に、三日月知事から表彰状が授与されました。



## 草津電機(株)

【高い付加価値を持つ高効率モーターの開発】

安価な鉄でできた磁石を使い、その配置を工夫することによって、高価で希少なレアアース磁石を用いたモーターと同等な効率化を達成した、省エネと低騒音化に貢献する製品です。



専用駆動回路付き

## 滋賀バイオマス(株)

【木くず・廃プラ混合バイオコークス燃料(PMBC)の製品化】

木くずに廃プラスチックを混合し、圧縮・加熱して、化石燃料である石炭コークスと同等な熱を供給できる燃料です。木くずを用いることで化石燃料を削減し、廃プラスチックによって大きな熱を供給できる製品です。



## 大湖産業(株)

【天然素材を用いたすだれ、スクリーン、カーテンの製造】

ヨシの他、竹や木、麻などの天然素材を用いて、すだれやスクリーンなど、夏の暑さを遮断する製品を製作しています。このような伝統技術を用いたすだれづくりが減る中、革新的なデザインで九州新幹線や「ななつ星」のブラインドに採用されるなど、新たな製品も生み出しています。



木製スクリーン

# 地球温暖化防止 COOL CHOICE啓発ポスター入賞作品

「COOL(クール) CHOICE(チョイス) (=賢い選択)」は、地球温暖化防止につながる行動などを賢く選んでいこうというものです(最終ページもあわせてご覧ください)。

滋賀県と滋賀県地球温暖化防止活動推進センターは、クールチョイスを具体的に呼びかけるポスターを小中高生から募集しました。夏休みに酷暑と異常気象を体感された皆さんから多くの力作が集まり、その中から選んだ入賞作品12点で『2019しがCOOL CHOICEカレンダー』を作成して、県内の学校や公共機関等に配付するとともに、作品展を開催しました。



最優秀賞/滋賀県知事賞  
森山 紗弥さん (滋賀県立栗東高等学校2年)



優秀賞  
滋賀県地球温暖化防止活動推進センター長賞  
名倉 明輝さん  
(草津市立志津南小学校5年)



優秀賞  
滋賀県地球温暖化防止活動推進センター長賞  
筧 七虹さん  
(長浜市立高月中学校3年)

- 佳作  
脇坂 樹恵琉さん  
(長浜市立小谷小学校2年)
- 北本 大芽さん  
(栗東市立大宝西小学校3年)
- 足立 はなさん  
(近江八幡市立金田小学校6年)
- 浅見 茉莉さん  
(長浜市立高月中学校1年)
- 倉本 灯さん  
(滋賀県立水口東中学校2年)
- 中村 由羽さん  
(長浜市立びわ中学校2年)
- 川崎 望羽さん  
(甲良町立甲良中学校3年)
- 木村 美咲さん  
(滋賀県立石山高等学校1年)
- 片岡 澄美礼さん  
(滋賀県立栗東高等学校2年)



自然と人との共生をめざして

# その人に 聞く

株式会社 明豊建設

企画営業部長 白石 昌之 さん

— 小袋タイプの販売から2か月半、売れ行きも順調だそうですね。

**白石部長** 1,500袋販売しましたが、これからですよ。観賞用植物など室内で使うオーガニック肥料として、においがいいよう商品化しました。

コーヒー豆と同じパッケージにして、知事にもPRしていただいています。

— 見た目も細引きコーヒー豆みたい。土のいい香りがします。

**白石部長** 財団から引き取った水草を、独自の土壌菌で強制的に発酵させることで、約2か月という短期間でたい肥化しています。2年前から販売している大袋（フレコンタイプ）は、ごみを取り除くためふるいに1回かけ、この小袋の方は、さらに2mmのふるいにかけています。大袋は粒が粗いため排水が良く、畑や果樹園で使っていただく想定です。

— 大袋の方はオリーブ園から毎年発注があるそうですが、従来の肥料やたい肥より評価されているのですか。

**白石部長** そうですね。小豆島はオリーブ栽培が大変盛んなところですが、日本の高温多雨で、島全体に炭そ病の被害が多く見られます。あるオリーブ園で、消毒をして化成肥料をやっても収穫高が改善しないところに、3年前にびわ湖の水草で作ったたい肥を無償提供してみたら、なぜか炭そ病が出なくなったというのがきっかけですね。今後は化成肥料も消毒も一切使わず、有機で展開されるそうです。

— それはすごいですね。一方、最近発売された小袋タイプの反応はいかがですか？

**白石部長** ほとんどが県外の都市部の方です。Amazonなどで見て購入したのをきっかけに、びわ湖の水草問題を知ったが、社会貢献になれば嬉しいという声を多くいただいています。

— すばらしいです。水草を使った肥料に、どういう思いで取り組まれたのですか？

びわ湖の水草は、かつては農地への肥料などに利用されていましたが、近年は異常繁茂による生態系への深刻な影響、漁業や船舶航行への障害があり、悪臭を放ち景観を損ねるやっかいな存在となっています。

県と当財団が取り組んでいる、この水草を資源として活かす事業では、年月をかけて「たい肥」にして、県民の皆さんに活用いただくサイクルを作り、モニターになってくださる方に無料で配付しています。

その一方で、財団から提供した水草で、5年前よりたい肥の事業化に着手されたのが、株式会社 明豊建設の白石さんです。

**白石部長** 当社は公共事業に注力して今年80周年になるのですが、5年前に記念事業を検討することになりました。建設は壊すというイ



明豊建設・白石昌之部長

メージから、環境に優しいものをと考えた時に、水草問題を新聞で読んだことから今に至ります。

— 財団と関わっていただいたのもそれからですね。今後の戦略や目指されるところは？

**白石部長** ビジネスとして続けられるか、その一点です。取り組み自体は評価いただき、ありがたいのですが、民間企業なので赤字では続けられません。一過性の物にならないよう、今年度1万袋、3年後には年間3万袋という販売シナリオを作っています。また、たい肥の発酵過程でできる黒い液体も炭そ病に効くことがわかったので、いずれ液体肥料として製品化したいです。財団さんと取り組ませていただいたおかげです。

— またできることがあればぜひ一緒にやりましょう。

**白石部長** ヨシと琵琶湖の水草をジョイントしたたい肥なんて、ストーリー性がありますね。ぜひ実現させたいです。

## ビニル ドゥ ラク (湖の恵)



小袋タイプ 350g 800円



フレコンタイプ 500kg 35,000円

びわ湖の水草から作られたたい肥です

お問い合わせ：(株) 明豊建設 アグリサイエンス部  
TEL：0749-63-6282



# 持続可能な地域社会の実現に向けて

平成30年10月17日にびわ湖環境ビジネスメッセ会場である長浜バイオ大学で、「地球温暖化防止を支える企業のSDGs経営」をテーマに、第5回エコ・エコノミー推進セミナーを開催しました。

講師として、第1回「ジャパンSDGsアワード」総理大臣賞を受賞された北海道下川町の蓑島豪SDGs推進戦略室長をお招きし、「持続可能な地域社会の実現に向けて ～SDGs未来都市しもかわ～」と題して、講演いただきました。



講演の様子

## 1 持続可能な地域社会を創る

下川町は、人口約 3,300 人、町の面積は東京 23 区と同程度で、このうち森林が 88% を占め、古くから森林資源を活用したまちづくりを行っています。

特に、「持続可能な地域社会の実現」を目指し、政府から環境モデル都市（'08 年）、環境未来都市（'11 年）の選定を受けるなどして、経済（森林総合産業の構築）・社会（超高齢化社会への対応）・環境（エネルギー自給と低炭素化）の3つの領域の価値創造と、統合的解決をコンセプトとした取り組みを進めてきました。（図 1）



図1 環境未来都市モデル

## 2 第1回ジャパンSDGsアワード総理大臣賞受賞

具体的には、森林資源を最大限、最大効率で活用することを基本として、「植林→育林→伐採→植林」を繰り返す循環型森林経営システムの確立、廃棄物をできるだけ出さないゼロエミッションの木材加工、未利用の林地残材などをバイオマス原料とする地域エネルギー自給と低炭素化、さらに地域熱供給システムを核とした超高齢化集落の再生など、経済・社会・環境の統合的取り組みを進めています。

その結果、人口減少が緩和し、転入数が転出数を上回る年が見られるようになり、地域熱エネルギー自給率が 49% になるなど、持続可能な地域社会の「芽」が出てきています。

こうした取り組みと実績が評価され、2017 年の「第 1 回ジャパン SDGs アワード」で内閣総理大臣賞（最高賞）を受賞しました。



バイオマス発電



# ～SDGs未来都市しもかわ～



みのしま たけし  
**袁島 豪** さん  
 北海道下川町  
 SDGs推進戦略室長

## 3 SDGs未来都市しもかわ

2016年からSDGsをまちづくりに取り入れた取り組みを進めています。

具体的には、2018年にSDGsを取り入れた「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」(図2)を定め、この実行計画となる次期下川町総合計画(最上位計画)に、「下川版SDGs」を将来像として位置付け、2030年までに実行していく考えです。また、下川版SDGsとこの実現のための打ち手を中心とする内容が、政府が2018年に創設した「SDGs未来都市」に選定されました。



図2 2030年における下川町のありたい姿

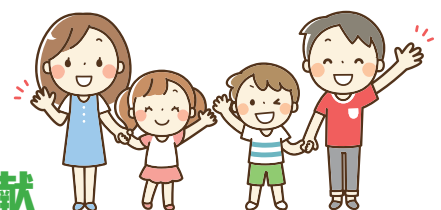


図3 SDGsパートナーシップ

SDGsは異なる背景を持つ様々な人々を結びつける”接着材”でもあります。これまでSDGsを切り口として、(公財)地球環境戦略研究機関、三井不動産(株)、吉本興業(株)、(株)ベルシステム24HD・久遠チョコレート等とSDGs推進に関する連携協定を締結し取り組みを進めているところです。(図3)

## 4 持続可能な地域社会を実現しSDGsの達成へ貢献

下川町が目指す「持続可能な地域社会の実現」は道半ばにありますが、地域内外の多様な人々との連携と共創により「下川版SDGs」を実現し、国内外の都市や地域へ波及展開をしていくことが、SDGsへの貢献につながると考えています。





# 日本 ヨシ紀行

ヨシの風景を訪ねて

## 第1回 大阪府高槻市鶉殿

琵琶湖より出て京都府で宇治川となった流れは、大阪府に入る際に天王山と男山が突き出た地形に行く手を阻まれ、桂川・木津川の三川と合流し淀川となります。鶉殿のヨシ原は、この合流地点から5kmほど下った淀川右岸にあり、広さ約75ha、長さ2.5kmの淀川流域最大のヨシ原で、野鳥や動植物の貴重な生息地ともなっています。(写真①)

鶉殿ヨシ原保存会のお話によると、鶉殿では、必要なヨシを刈り取った後に、毎年2月頃に、ヨシ原の保全と害草・害虫の駆除、不慮の火災防止等を目的に



鶉殿のヨシ原 写真①

「鶉殿のヨシ焼き」を行っておられます。ヨシ焼きは、周辺住民からの苦情



もあり、中止の危機もありましたが、地元では、「先祖からの預かりごとでもあり、なんとしてでも続けたい。」とのこと。

このヨシは、雅楽で用いられる楽器「箏築(ひちりき)」の吹き口である「蘆舌(ろぜつ)」(写真②)の原料として、古くから珍重されています。蘆舌用は、厚み12mm前後の肉厚で節間の長いものがよいとのこと。昭和20年頃までは、毎年100本ずつ宮内庁に献上されており、今でも宮内庁楽部で使われている蘆舌は、すべて鶉殿産のヨシで作られているということです。



左) 蘆舌 右) 箏築  
(写真提供 高槻市)  
写真②

## 滋賀県 地球温暖化防止 活動推進員 リレートーク



山本悦子さん  
草津市在住

滋賀県地球温暖化防止活動推進員は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、滋賀県知事より委嘱されています。また、県と滋賀県地球温暖化防止活動推進センターが推進員の活動のための支援を行っています。

第10期の現在、平成30年度から31年度末までの2年間の任期で、100名の方々が県内各地で活躍されています。

リレートーク第1回は、環境大臣表彰受賞のこの方をお願いします!

電機メーカー在職中、ISO14001 構築業務に携わっていたことがきっかけで地球環境問題を考えるようになりました。2002年退職後は環境NPOの会員として学習を続けていました。

当初は、自らが省エネ・省資源などエコライフを心がけていましたが、「学び」を実践するだけでなく、「伝える」・「展開」する活動が必要であると考えるようになり、2004年に滋賀県地球温暖化防止活動推進員に応募し、今日に至っています。

「一人の百歩より、百人の一歩」をキーワードとして、無関心の人にかに環境保全への関心を促すか、温暖化防止活動推進員としての大きな役割

であると思います。環境講座に限らず、地域のイベントや行事の場などさまざまな機会を通して、「無難なく、できることから少しずつ」をモットーに活動しています。



西武大津店と平野幼稚園のゴーヤー苗植え講座にて





イベント名	開催日	時間	場所	内容
わくわくエコひろば ～エコキッズ 博士になろう！～	7月7日(日)	10:00～ 17:00	イオンモール草津 1階 セントラルコート	エコ博士との参加型ステージや、エコを楽しく学ぶゲームコーナー、エネルギー体感装置などで、家族でびわ湖や温暖化について考えましょう。
夏休み 自由研究 講座	草津会場 7月21日(日)  彦根会場 8月1日(木)	11:00～ 12:30、 14:00～ 15:30	7月21日(日) イオンモール草津  8月1日(木) ビバシティ彦根 定員：各回 30名	食べものから地球温暖化問題を学びながら、旬でおいしくエコな食事メニューを一緒に考えます。
下物 ビオトープ観察会	8月17日(土)	9:00～ 12:00	琵琶湖博物館 →下物ビオトープ	琵琶湖博物館のヨシ展示などを見学した後、ビオトープで生き物を探します。 (下物ビオトープ：道の駅草津のとなり)
マザーレイクフォーラム びわコミ会議	8月31日(土)	10:00～ 16:30	コラボしが 21	県民みんなが集い、お互いの思いや取組状況を共有して、びわ湖の現状や将来について話し合います。

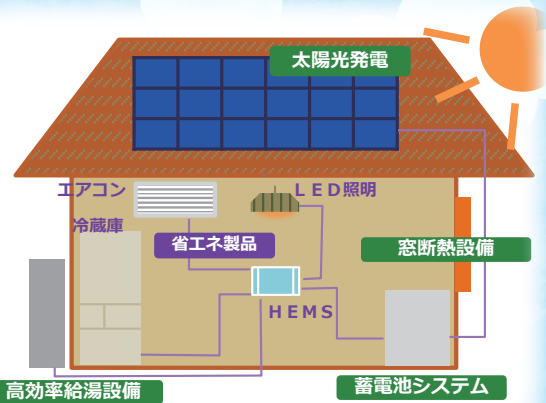


平成31年度 **スマート・エコハウス普及促進事業補助金の募集を行っています**

滋賀県では、家庭においてエネルギーを「減らす」「創る」「賢く使う」取組を総合的に広めるため、個人の既築住宅において、**スマート・エコ製品**を設置する場合、経費の一部を補助しています。

補助制度の詳細、申請様式は  
当財団ホームページよりご覧ください。

<https://www.ohmi.or.jp/ondanka/h31smart-eco/>



**ご寄附をいただきました**

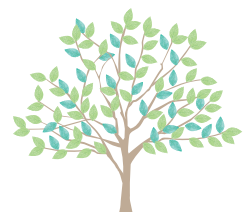
◇**滋賀銀行様から  
びわ湖放送 SDGs 私募債「つながり」  
発行記念の寄贈品をいただきました**

びわ湖放送様の私募債発行にあたり、当財団の、国連の開発目標「SDGs」に沿った取り組みが評価され、「ソーラーパネル付ポータブル蓄電池」が寄贈されました。当財団では、頂いた備品をさまざまな普及啓発イベントでの電源として活用すると同時に、再生可能エネルギーの普及啓発や、適応策（災害への備え）のモデル製品として、県内各地で多くの方に見ていただきたいと考えています。



◇**ご寄附・ご協力ありがとうございます**

- 株式会社ハートフレンド様
- パイプオルガンスプリングコンサート出演者・来場者一同様
- 地球環境関西フォーラム様
- 京セラ TCL ソーラー合同会社様
- 甲賀農業協同組合様
- 瀬田アーバンホテル様
- 三和産業株式会社様





## 新理事長就任のごあいさつ



昨年6月29日に前理事長力石伸夫の後任として、淡海環境保全財団理事長に就任いたしました中鹿哲と申します。びわ湖を始めとする滋賀の美しい自然環境を次世代に継承しながら、地域社会の発展のためのさまざまな事業に邁進する所存です。

私たちは、事業を実施する知見、経験はもとより、地域社会とのパートナーシップという点で強みを持っていると自負しています。これまでの四半世紀に及ぶ成果を踏まえ、新しい挑戦にも取り組み、淡海環境保全財団らしさを発揮してその使命を果たすべく努力して参る所存です。

今後も更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

公益財団法人淡海環境保全財団  
理事長 中鹿 哲

## 「平成30年度しが生物多様性取組認証制度」3つ星を取得しました

当財団はこのほど、滋賀県が実施する「平成30年度しが生物多様性取組認証制度」において、最高評価の3つ星を取得しました。

今後も、県土の環境保全活動に継続的に取り組み、生物多様性の保全や地球温暖化の防止に貢献してまいります。



## マンホールカードを配付しています (淡海環境プラザ)

滋賀県のマンホールカードを配付しています。

また、滋賀県と各市町（合併前の市町村を含む）のデザインマンホールを展示していますので、ぜひご来館ください。

平日9時00分  
～16時30分まで  
(淡海環境プラザの休館日を除く)



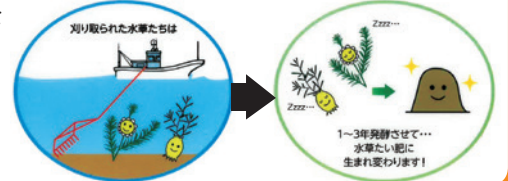
## 「COOL CHOICE」にご賛同ください (温暖化防止センター)

環境省の「COOL CHOICE」とは、地球温暖化対策のための国民運動「クールチョイス (=賢い選択)」です。省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。



## 水草たい肥モニターを募集しています (自然保護・環境保全)

当財団では、びわ湖で異常繁茂する水草を刈り取り、たい肥を作っています。このたい肥で植物を育てていただき、使用状況や感想等をアンケート様式で回答いただくモニターを募集しています。



## ヨシ製品を販売しています

刈り取った琵琶湖のヨシを利用した様々な風合いのヨシ紙製品を多数取り揃えています。また、特にキク作りに適したヨシ腐葉土や、水辺の緑化と景観づくりに優れたヨシ苗の育成販売をしています。

## 賛助会員を募集しています

財団の事業活動にご賛同、ご支援をいただける賛助会員を募っています。  
【会費】個人会員 1口 1,000円 / 年 団体会員 1口 10,000円 / 年  
【会員特典】機関誌「明日の淡海」のご送付、メールマガジンによるイベント情報等ご案内、財団販売のヨシ製品を2割引でご購入（個人会員のみ）  
※詳しくは財団HPをご覧ください。

## 公益財団法人 淡海環境保全財団 「明日の淡海」

発行 公益財団法人 淡海環境保全財団

〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町2108番地  
TEL: 077-569-5301 FAX: 077-569-5304 E-mail: info@ohmi.or.jp

【滋賀県地球温暖化防止活動推進センター】  
TEL: 077-569-5301 FAX: 077-569-5304 E-mail: ondanka@ohmi.or.jp

【淡海環境プラザ】  
TEL: 077-569-5306 FAX: 077-569-5334 E-mail: plaza@ohmi.or.jp

VOL.27 2019年6月発行  
(年4回発行)



編集後記 今号からリニューアルし、年4回の発行としました。  
ぜひご感想、ご意見をお寄せください!



- 用紙: 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷